

日本ベンチャー学会制度委員会報告書

日本ベンチャーの新しい動き

2025 年 7 月

はじめに

制度委員会は、2011年に発足し、当時の委員は、松田修一委員長の下、委員として東誠一郎（トーマツ）、潮来克士（あずさ）、高橋廣司（新日本）、一柳良雄、伊藤俊明（ジャフコ）、奥原慶一、呉雅俊、佐藤辰彦、隣良部（エヌ・ピー・シー）各氏、オブザーバーとして川本明氏（元経済産業省）、アドバイザーとして秦信行氏、事務局田村真理子氏であった。

東日本大震災後の2011年5月に、第1回目の制度委員会報告書「付加価値創造エンジンとしての『コア技術をベースにした成長ベンチャーの輩出』」を上記委員が分担執筆した。なお2012年からは秦信行氏が委員長になった。

日本ベンチャー学会は、多くの提言を行ってきた。多くは、制度委員会の報告をベースにした。日本ニュービジネス協議会連合会・日本ベンチャーキャピタル協会・日本ベンチャー学会による『三団体緊急提言：高付加価値型ベンチャー企業の簇業』は、その典型である。

年間7回の制度委員会を一定のテーマに沿って開催し、その講演内容を日本ベンチャー学会会報に委員長コメントと共に報告する。その後、2年に1回「制度委員会報告」として製本し、会員メンバーに配布している。

秦委員長の元で、「職業の縦型の専門家が進んだ結果、ベンチャーを俯瞰し、共通の課題を発見し解決するための横串刺しの議論が不足しているのではないか」という問題意識があった。そこで、日本ベンチャー学会に集う起業家、ベンチャーキャピタリスト、知財や監査に関する専門家等に参集頂き、議論を重ねて、最終報告に繋げるに至った。

秦先生とは、中小企業基盤整備機構の出資先評価委員会や同ファンド評価委員会でご一緒した。前者は、「VCに対してマッチングファンドにLP出資するか否か」を審議評価する年間数回の会合である。後者は、「機構のマッチングファンドの年間評価」である。2024年3月に行われたファンド評価委員会は、秦委員長の元で行われた。しかし、7月に先生はご逝去された。

第7期制度委員会報告の「はじめに」は、委員長である秦信行國學院大學名誉教授が執筆予定であったが、先生のご逝去に伴い、オブザーバーとしての松田が作成した。

ここで、秦信行先生と日本ベンチャー学会との関わりをご紹介します。

<経歴>

1974年：早稲田大学修士卒業後野村総合研究所で企業調査室長など歴任

1991年：日本合同ファイナンス（現JAFCO）出向・海外調査部長等を歴任

1994年：國學院大學経済学部へ。経済学部長・理事を歴任

<活動>

日本ニュービジネス協議会：アドバイザーボード・メンバー、IPO大賞審査委員長

（公社）日本ニュービジネス協議会連合会（JNB）：特別委員

（特非）インデペンデンツクラブ代表理事

事業創造大学院大学教授

<主たる著書>

1989 年共著「新世代企業」野村総合研究所

1995 年共著「ベンチャービジネス&キャピタルの企業戦略」清文社

1996 年編著「ベンチャーファイナンスの多様化」日本経済新聞社

2000 年編著「ベンチャー企業の経営と支援」日本経済新聞社（初版 1994 年）

2017 年単著「ベンチャーコミュニティを巡って」武蔵デジタル出版

秦先生は、インデペンデンツクラブの月刊誌「The INDEPENDENTS」（出版責任：副代表理事國本行彦氏）で、「ベンチャーコミュニティを巡って」という連載を行い、2017 年に出版した。当クラブは、1998 年の創業以来「全国の個性溢れる起業家を発掘する」ことを使命としている。年間約 50 回、起業家のスタートアップによる「事業計画発表会」を、各地域の大学産学連携や行政と提携開催している。常に、ベンチャーを支援する VC や知財専門家、新たなビジネスモデルの支援・会計事務所等が集まり、地域活性化に貢献している。また、北日本・関東・中部・関西・西日本毎に地域代表を選定し、さらに地域代表者を一堂に会し、参加者全員による全国年間顕彰を行っている。

制度委員会委員長でもあった秦信行先生が、情熱を注いだベンチャーと VC との出会いと支援に感謝し、「はじめに」を作成した。

2025 年 5 月

一般社団法人日本ベンチャー学会 制度委員会

オブザーバー 松田 修一

目 次

はじめに	1
第1章 2022年から始まった「日本ベンチャーの新しい動き」	4
第2章 2022年10月－2024年9月制度委員会の活動	6
第3章 月例委員会での講演内容 「日本ベンチャーの新しい動き」	
(1) 特許の現在地	10
(2) 大学発スタートアップのインキュベーション活動の現状や課題について	14
(3) 川崎のディープテックを中心としたベンチャー・エコシステムの現状と課題	18
(4) 三井不動産におけるイノベーションの取組みについて	22
(5) 日本の未上場株式市場における課題と解決について	26
(6) 大阪におけるベンチャー支援政策「RISING!」の取組みについて	30
(7) 急成長を遂げる日本のスタートアップ市場	34
(8) 創薬ベンチャーの現状と課題	38
(9) 2030年半導体1兆ドル時代に日本は最後で最大の機会を生かせるか	42
(10) 宇宙ビジネスに学ぶ その広がりとは経営戦略	48
(11) 日米のディープテック・ベンチャーを取り巻く環境の考察	54
(12) 中小企業支援の秦信行先生の足跡とスタートアップへの制度的期待	58
おわりに	62

(※肩書は当時のものを掲載・敬称略)

日本ベンチャー学会 制度委員会委員（2022 年 10 月-2024 年 9 月）

委員長	秦 信行	事業創造大学院大学	特任教授（逝去）
委員	阿部 博	有限責任 あずさ監査法人	インキュベーション部ディレクター 常務執行理事 パートナー
委員	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ	代表取締役兼 CEO
委員	小野 正人	國學院大學	教授
委員	小原 靖明	株式会社 AGS コンサルティング	顧問
委員	木村 忠昭	株式会社アドライト	代表取締役
委員	呉 雅俊	株式会社 TNP パートナーズ	代表取締役
委員	佐藤 辰彦	株式会社創成知財解析研究所	代表取締役
委員	嶋野 邦彦	早稲田大学	教授
委員	庄司 秀樹	東洋システム株式会社	代表取締役
委員	杉田 定大	東京工業大学	特任教授
委員	善方 正義	EY 新日本有限責任監査法人	企業成長サポートセンターパートナー
委員	高石 秀樹	中村合同特許事務所	パートナー
委員	高波 英明	三井不動産株式会社	イノベーション推進本部 ベンチャー共創事業部 執行役員 ベンチャー共創事業部長
委員	竹田 裕	有限責任監査法人トーマツ	パートナー
委員	豊貴 伸一	ジャフコ グループ株式会社	取締役会長
委員	南 成人	仰星監査法人	理事長 代表社員
委員	山口 泰久	株式会社 FFG ベンチャーパートナーズ	取締役副社長
委員	山本 晃史	三菱地所株式会社	協創推進営業部
委員	弓取 修二	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	理事
オブザーバー	松田 修一	早稲田大学	名誉教授
事務局	田村 真理子	一般社団法人日本ベンチャー学会	理事・事務局長

※上記委員会委員は 2024 年 9 月現在のもので、年度内で委員の変動あり

（敬称略・肩書は当時のもの）